

## 済生会松阪総合病院 院外処方せんに印字する検査値の基準値とその説明

項目	基準範囲(値)	単位	説明
CRE	♂0.65~1.07 ♀0.46~0.79	mg/dl	mg/dl腎機能を反映する。進行した腎炎や腎不全で高値を示す。筋肉量によっても影響を受ける。
eGFRcre	-	mL/min/1.73m <sup>2</sup>	腎機能の指標の一つ
WBC	3.3~8.6	× 10 <sup>3</sup> /μl	外部から侵入したウイルスや細菌から身を守る。これらに感染すると高値を示すことが多い。
好中球数	-	× 10 <sup>3</sup> /μl	低下すると感染症のリスクが高くなる
ヘモグロビン	♂13.7~16.8 ♀11.6~14.8	g/dl	貧血を目的とした検査で、低値を示すと貧血の診断をすることができる。
血小板	158~348	× 10 <sup>3</sup> /μl	止血の役割をする。血小板数が極度に低下すると血が止まりにくくなる。
Na	138~145	mmol/L	体内の水分量を反映する。低値は相対的水過剰を、高値は相対的水欠乏を表わす。
K	3.6~4.8	mmol/L	体液のバランスを反映する。
Ca	8.8~10.1	mg/dl	99%が骨や歯に存在し、血液の凝固、神経刺激の伝達に関与する。
Mg	1.8~2.5	mg/dl	腎不全で高値を示す。酸化マグネシウム製剤のモニタリング。
Fe	40~188	μg/dl	赤血球の中に多く存在する。血中では蛋白質と結合する。貧血の検査。
ALT	♂10~42 ♀7~23	U/l	肝臓に多い酵素。肝臓に障害がおけると高値を示すことがある。肝炎には敏感に反応する。
AST	13~30	U/l	肝臓に多い酵素。肝臓や心臓などに障害がおけると高値を示すことがある。
T-Bil	0.4~1.5	mg/dl	主に栄養状態をみる。低値は肝機能低下、低栄養状態等が考えられる
ALB	4.1~5.1	g/dl	主に栄養状態をみる。肝臓や腎臓が障害を受けると低値を示すことがある。
CK	♂59~248 ♀41~153	U/l	骨格筋、心筋に多く存在する酵素。激しい運動や心筋梗塞で高値になることがある。
HbA1c	4.9~6.0	%	約1~2カ月前の血糖値を表わしているので、検査直前の食事の影響を受けない。
PT-INR	-	-	血液の凝固因子に関する指標の一つ。